

認定こども園の水害対策整備事業

5か年加速化対策

国土強靱化

NATIONAL RESILIENCE

災害時の効果発揮事例

概要：福岡県八女郡広川町の保育所型認定こども園において、豪雨時の床上浸水等を未然に防止し、防災・安全確保に対応するため、高台への施設移転を実施し、令和7年8月6日の豪雨においても浸水被害が生じなかった。

対策名：23-3 社会福祉施設等の耐災害性強化対策(水害対策強化対策)<5か年加速化対策>【こども家庭庁】

■実施主体：福岡県八女郡広川町

■実施場所：福岡県八女郡広川町

■事業概要：福岡県八女郡広川町の保育所型認定こども園において、豪雨による床上浸水や、道路冠水により施設が孤立する事態が発生していた。そのため、防災・安全確保のため高台への施設移転を実施した。

■事業費：約3.5億円(令和3～5年度)

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
水害対策強化対策 整備事業	施設の 移転増改築	約3.5億円	R3～R5
うち5か年加速化対策	施設の 移転増改築	約3.5億円	R3～R5

■効果：

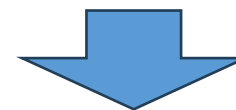
令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨において、福岡県では1時間に110ミリ以上の猛烈な雨が降る等、県内全域的に浸水被害や道路損壊・埋没等の被害があり、広川町にも大雨警報(浸水害)や洪水警報が発令された中、当該施設において被害は生じなかった。

以前の集中豪雨や台風では床上浸水が発生したが、高台への移転整備により移転先で浸水被害はなく、園児及び職員が安心・安全に過ごすことができた。

対策前



平成24年九州北部豪雨では園舎が床上浸水した。令和以降も、2年連続で園舎前の県道が溢水により冠水し、施設が孤立する事態が生じていた。



対策後



対策後 (高台に移転)



(参考) 当該施設利用児童数(令和7年8月時点) 123人